

領域	専門分野 I	授業科目	基礎看護技術Ⅱ-2	単位 (授業時間/時間数)	1 (28/30)
開講年次	1年次	開講時期	前期	後期	通年
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	

授業のねらい

排泄行動は人間の生命・生活行動にとって重要な日常の営みである。患者は、排泄援助が必要な状況となった際、たいへんな羞恥心を抱き、援助者に対して遠慮や恐縮の感情を抱く。また、排泄の援助方法自体に苦痛を伴う場合もある。したがって本科目では、排泄の仕組みと排泄援助の方法と目的を学び、患者の羞恥心に配慮できる、また患者の個性・その人の持てる力を最大限発揮する援助を考える視点をもって、患者の排泄の自立支援の必要性を理解できることをめざす。

呼吸・循環を整えるケアが必要な患者は、とくに重篤な場合が多く、実施後には必ず記録を残すことも必要である。呼吸・循環を含めて、人間の身体構造と機能に関する総合的なアセスメント能力を培うために、正確な知識と技術の習得を目指し、呼吸・循環を整える看護技術について、演習を通してその必要性と根拠を学ばせたい。

授業目標

[排泄援助技術]

1. 排泄の意義とそのメカニズムを理解することができる
2. 排泄援助の方法を学び、実践することができる

[呼吸・循環を整える技術]

1. 呼吸・循環を整える看護技術の目的と方法を理解し、援助の実践を学ぶことができる

授業概要

[排泄援助技術]

- 1 自然排尿および自然排便の基礎知識
- 2 導尿
- 3 排便を促す援助

[呼吸・循環を整える技術]

- 1 酸素吸入療法
- 2 吸引
- 3 排痰ケア
- 4 吸入
- 5 人工呼吸療法
- 6 体温管理の技術
- 7 末梢循環促進ケア

授業の進め方

講義、演習、ジグソー学習

教科書

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ (医学書院)
看護技術プラクティス (学研)

参考図書

評価方法

客観式テスト (70 点)、出席、演習の取り組み、課題、提出状況などを踏まえて総合的に評価する。
試験時間は時間数に含む。